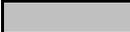


# 大学情報データベース データ項目・定義一覧

(平成19年7月3日現在)

(凡例)

 共通項目

 任意項目

大項目	調査番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
組織	00-01 00-02 00-03	組織登録票(大学等) 組織登録票(学部・研究科等) 組織登録票(学科・専攻等)	組織区分	各階層の組織等の種類による区別 大学、短期大学、大学院大学 <第1層> 大学、短期大学、大学院大学 <第2層> 学部、研究科、専攻科、別科、事務局(学長の監督の下に庶務、会計、施設及び学生の厚生補導等に関する事務を処理する組織をいい、第2層以下の事務を処理する組織を除く)、付属図書館、大学附置研究所、全国共同利用施設、学内共同教育研究施設、学環、学府等 <第3層> 学科、専攻、学部等附属研究施設、附属病院、附属学校、附属図書館、附属実習施設、実験・工作施設等、附置研究所等の研究部門	組織区分:リスト	大学等 学部・研究科等 学科・専攻等	
			代表者名	第1～3層までの各組織の代表者の役職名及び氏名。 大学は学長、学部は学部長が該当する。	文字:60字	大学等 学部・研究科等 学科・専攻等	
			組織名称(和文)	定款等の根本規則にある組織の正式名称。	文字:60字(全角のみ+ 半角文字を全角に変換)	大学等 学部・研究科等 学科・専攻等	
			組織名称(英文)	組織の英語正式名称。	半角英数:100字		
			組織名称(ふりがな)	「組織名称(和文)」のふりがなによる表記。	文字:60字(全角かなのみ)		
			組織設置目的 《任意》	組織が設置された目的。	文字:2400字	大学等	
			郵便番号	組織の所在地の郵便番号。(7桁:000-0000) 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。	半角英数:64字	大学等 学部・研究科等	
			都道府県	組織の所在地の都道府県。 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。	都道府県:リスト		
			住所(和文)	組織の所在地の日本語表記。 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。	文字:100字		
			住所(英文)	組織の所在地の英語表記。 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。	半角英数:100字		
			設置年月日	組織の設置年月日	半角数字(年月日): YYYY.MM.DD	大学等 学部・研究科等 学科・専攻等	
			廃止年月日	組織の廃止年月日			
			教育研究分野名	当該組織の教育研究分野の区分。学校基本調査「学科系統分類表」の「大分類」又は「中分類」を用いる。	教育研究分野:リスト	学部・研究科等 学科・専攻等	
			設置法人等 《任意》	大学等の設置者の名称 (国立大学法人等)	文字:60字	大学等	
			設置法人等区分 《任意》	国(国立大学法人等)	設置法人等区分:リスト		
			設置者代表者名 《任意》	学校等を設置する法人の代表権を有する者の役職・氏名	文字:60字		
			監事名 《任意》	監事が義務的設置機関とされている場合は監事の氏名	文字:100字		
			理事名 《任意》	業務執行機関である理事等、「代表者」「監事」以外の当該法人の役員の氏名	文字:100字		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
			備考	教職員組織と学生組織の体系が異なる場合に、その組織がどちらの体系に属するのか、また教育を担う組織で教育課程についての特記事項(たとえば異なる修了年限の教育課程の存在など)があればそれを記入する。また、新設・統廃合などに伴う変更は、備考欄にその旨記述する。 記入例:2004.4.1 理学部と工学部を統合し、理工学部を新設 2004.10.1 法文学部が法学部と文学部に分立 2005.4.1 医学研究科を医学系研究科に改称	文字:400字	学部・研究科 学科・専攻	
			変更区分	前年度(前回調査)からの組織の変更有無。A,Uで示す。 A:追加 U:変更	英字:1字	学部・研究科 学科・専攻	
			組織コード	組織を特定するコード。データ提供機関で独自に採番する。 (数字3桁(001~998)のユニークな値)	半角数字:3桁	学部・研究科 学科・専攻	
			上位組織(学部・研究科等)名称(和文)	学科・専攻に対する上位の組織名称。 (組織登録票(学部・研究科等)で入力した学部・研究科等名称(和文))	文字:60字	学科・専攻	
			上位組織(学部・研究科等)コード	学科・専攻に対する上位の組織コード。 (組織登録票(学部・研究科等)で採番したコード)	半角数字:3桁	学科・専攻	
施設	01-02	施設(附属図書館)	分館数	分館の数。 学術情報基盤実態調査 1-(B) の分館数 に同じ。 この項目は、中央図書館のシートでのみ記入する。	半角数字:5桁	大学(図書館・室単位)	5月1日 現在
			部局図書館・室数	部局図書館・図書室の数。 学術情報基盤実態調査 1-(B) の部局図書館・室数に同じ。 この項目は、中央図書館のシートでのみ記入する。	半角数字:3桁		
			前年度大学総経費	前年度大学総経費(千円単位)。 学術情報基盤実態調査 1-(C) の平成xx年度大学総経費に同じ。 この項目は、中央図書館のシートでのみ記入する。	半角数字:12桁		前年度 実績
			延床面積	図書館の延床面積(平方メートル)。 閲覧用スペース、書庫のスペース、事務管理用のスペースなどを含む。 学術情報基盤実態調査 II-(B)-1-(4)「総延床面積」の欄に同じ。	半角数字(m <sup>2</sup> ):6桁		5月1日 現在
			閲覧座席数	図書閲覧用の座席数。 学術情報基盤実態調査 II-(B)-2の「総閲覧座席数」の欄に同じ。	半角数字:5桁		
			区分別職員数(専任・臨時)	専任職員数及び臨時職員数(司書資格者を含む) 学術情報基盤実態調査 II-(A)-1-(6)「図書館・室職員総数」の「専任」及び「臨時」の欄に同じ。	半角数字(人数):5桁		
			区分別司書資格者数(専任・臨時)	上記の専任職員数及び臨時職員数のうち司書資格者数 学術情報基盤実態調査 II-(A)-2-(2)「司書」の「専任」及び「臨時」の欄に同じ。			
			区分別図書冊数(和・洋)	図書(和)の蔵及び図書(洋)書数(冊)。 学術情報基盤実態調査 II-(C)-1-(1)「図書-和」及びII-(C)-1-(2)「図書-洋」に同じ。	半角数字:7桁		前年度 未現在
			区分別学術雑誌タイトル数(和・洋)	契約学術雑誌(和)及び契約学術雑誌(洋)タイトル数。 学術情報基盤実態調査票 II-(C)-2-(1)「雑誌-和」及びII-(C)-2-(2)「雑誌-洋」に同じ。			
			視聴覚資料点数	視聴覚資料の保有(合計)数。 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、レコード、映像フィルム、スライド、CD-ROMなどを含む。 学術情報基盤実態調査 2-(E)-1「視聴覚資料所蔵数(合計)」に同じ。			
			電子ジャーナル数	電子ジャーナルの契約(種類)数。 学術情報基盤実態調査 II-(C)-3「電子ジャーナル」に同じ。			
			区分別図書受入冊数(和・洋)	図書(和)及び図書(洋)の年間受入数(冊)。 学術情報基盤実態調査票 II-(D)-1-(4)「総受入冊数」の「和」及び「洋」に同じ。			前年度 実績
			区分別学術雑誌受入タイトル数(和・洋)	契約学術雑誌(和)及び契約学術雑誌(洋)の年間受入タイトル数。 学術情報基盤実態調査 II-(D)-2-(4)「総受入種類数」の「和」及び「洋」に同じ。			
			年間開館総日数	1年間に開館した総日数。 学術情報基盤実態調査 II-(F)-1-(1)「開館総日数」に同じ。	半角数字:3桁		前年度 実績

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
			年間開館総時間数	1年間に開館した総時間数。 学術情報基盤実態調査 II-(F)-1-(1)「開館総時間数」に同じ。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分→4.5時間)。	半角数字:5.1桁		
			一般公開有無	図書館を学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)へ公開しているか否かを区別。 公開とは、館内閲覧サービスを提供していることとし、館内の部分的な公開も含める。  学術情報基盤実態調査 2-(I)-1に合わせ、「認めていない」、「時間内のみ利用を認めている」、「時間外開館中の利用も認めている」のなかから単一選択 ※中央図書館のみ記入	有無:リスト		
			区分別貸出冊数(学内(学生)・学外)	学内者(学生)への貸出冊数及び学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)への貸出冊数。 学術情報基盤実態調査 II-(F)-2「館外貸出冊数」の学生の欄及び学術情報基盤実態調査 II-(F)-2の「館外貸出冊数」の学外者の欄に同じ。	半角数字:7桁		
01-01	学校用地	用地面積	土地面積は、土地境界線内の水平投影面積を測る。面積の単位は平方メートルとし、1平方メートル未満は四捨五入する。 建物の敷地面積には、周囲の庭園、空地、通路等の附属地を含める。 「附属病院敷地」 医・歯学部等の附属病院の敷地を記入する。ただし、家畜・獣医療院は「附属研究施設敷地」に含める。 「附属研究所敷地」 大学に直属する研究所の敷地を記入する。 「附属研究施設敷地」 大学(学部)・短期大学及び高等専門学校(学科)に所属する実験、実習所の敷地を記入する。 なお、校舎敷地、屋外運動場敷地等の隣接しているときは、その境界を明確にし、重複のないように注意する。  (学校基本調査 様式第20号 記入上の注意 学校施設の範囲 共同使用施設の記入方法 土地面積の測定 学校土地の用途別面積 を参照のこと。)	半角数字(m <sup>2</sup> ):9桁	大学	5月1日現在	
01-03	施設(保健センタ等)	延床面積	保健センタ等の施設の延床面積(平方メートル)。	半角数字(m <sup>2</sup> ):6桁	大学(保健センタ単位)	5月1日現在	
		運営体制(記述)	窓口開設時間、診療時間、医師在席状況、看護師在席状況などを400文字以内で記述する。	文字:400文字			
		健康相談(診断)実施件数	調査年度における、学生、教職員に対する健康相談等の延べ実施件数。 (診療行為・精神相談実施件数を含む。定期健康診断は含まない。) 同一者を対象とした複数の相談は、その回数分だけ計上する。	半角数字(件):6桁		前年度実績	
		学生定期健康診断実施件数	調査年度に、定期健康診断を実施した学生の延べ人数。 一人の学生が複数回受診した場合には、受診回数分だけ計上する。				
		教職員定期健康診断実施件数	調査年度に、定期健康診断を実施した教職員の延べ人数。 一人の教員が複数回受診した場合には、受診回数分だけ計上する。				
01-04	施設(博物館等)	延床面積	博物館等の施設の延床面積(平方メートル)。	半角数字(m <sup>2</sup> ):6桁	大学(博物館等单位)	5月1日現在	
		専任職員数	専任職員数(学芸員等含む)	半角数字(人数):5桁			
		学芸員等数	専任職員数のうち、学芸員等数。				
		非常勤職員数	非常勤職員数				
		歴史系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、歴史系資料の所蔵点数。 歴史、民族、考古等。	半角数字:7桁		前年度末現在	

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
			美術系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、美術系資料の所蔵点数。 古美術、西洋、東洋、近代等の美術品。			
			自然史系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、自然史系資料の所蔵点数。 動物学、植物学、鉱物学などの資料。			
			理工系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、理工系資料の所蔵点数。 科学技術、天文、産業など。			
			動水植物系資料所蔵点数	動物園、水族館、植物園で飼育・栽培している動植物の種類数。			
			その他資料所蔵点数	学術的に整理済である、上記に分類されない資料の所蔵点数。			
			年間開館総日数	1年間に開館している総日数。	半角数字:3桁		前年度実績
			一般公開有無	施設を学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)へ公開しているか否かを区別。 館内の部分的な公開も含める。	有無:リスト		
			利用者数	利用(入館)者数。	半角数字(人数):7桁		
			企画展示件数	企画展示の実施回数。	半角数字:3桁		
			展示替え件数	展示替えの実施回数。			
			施設特徴(記述)	施設の特徴や、施設の機能状況(ex. 資料の研究機関への貸し出し実績、交換実績)等を自由記述。 2400文字以内	文字:2400字		
01-05		施設(寄宿舍等)	寄宿舍等名称	寄宿舍等の名称。	文字:60字	大学	
			建築年度	当該寄宿舍が竣工した年度 YYYY形式 1800年~2100年の期間内	半角数字(西暦):4桁		
			単身用平均床面積	調査時点における、当該寄宿舍の単身用の部屋の1部屋当たりの平均床面積(平方メートル)。	半角数字(m <sup>2</sup> ):6桁		5月1日現在
			単身用室数	当該寄宿舍の単身用の部屋数。	半角数字(室):5桁		
			単身用延入居者数	当該寄宿舍の単身用の部屋の入居者数。 前年度中の延べ数。(途中で退室した者、途中で入居した者、一年間通していた者をそれぞれ1と数える。) 学生・留學生以外の者が同一の建物に入居している場合は、学生・留學生に關係する分だけを記入すること。	半角数字(人):5桁		前年度実績
			世帯用平均床面積	調査時点における、当該寄宿舍の世帯用の部屋の1部屋当たりの平均床面積(平方メートル)。	半角数字(m <sup>2</sup> ):6桁		5月1日現在
			世帯用室数	当該寄宿舍の世帯用の部屋数。	半角数字(室):5桁		
			世帯用延入居世帯数	当該寄宿舍の世帯用の部屋の入居世帯数。 前年度中の延べ数。(途中で退室した者、途中で入居した者、一年間通していた者をそれぞれ1と数える。) 学生・留學生以外の者が同一の建物に入居している場合は、学生・留學生に關係する分だけを記入すること。	半角数字(世帯):5桁		前年度実績

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
教職員	02-01	専任教員	学科・専攻名	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻名」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	5月1日 現在
			学科・専攻等コード	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載したコード。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			職名別・男女別専任教員数	職名・男女別による専任教員数。 ・専任教員 大学設置基準ほかで定められている者とする。  注意:*1の欄は使用しないこと。	半角数字(人数):5桁		
			男女別みなし専任教員数	専任教員数のうち男女別によるみなし専任教員数の内数。 ・みなし専任教員 「(平成15年3月31日文科省告示第53号)専門職大学院に関し必要な事項について定める件」第2条及び「(平成16年12月15日文科省告示第175号)大学設置基準別表第一備考第九号の規定に基づき薬学関係(臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの)の学部に係る専任教員について定める件」に基づく専任教員数。			
			男女別研究指導教員数	男女別による研究指導教員数。 ・研究指導教員 「(平成11年9月14日文部省告示第175号 最終改訂平成15年3月31日告示49)大学院に専攻ごとにおくものとする教員の数について定める件」に基づく研究指導教員数。			
			内男女別研究指導教員数(教授) 男女別研究指導補助教員数	研究指導教員のうち、教授の数。 男女別による研究指導補助教員数。 ・研究指導補助教員 「(平成11年9月14日文部省告示第175号 最終改訂平成15年3月31日告示49)大学院に専攻ごとにおくものとする教員の数について定める件」に基づく研究指導補助教員数。			
02-02	本務教員(基本)	職名別・男女別・本務教員数	職名別・男女別区分による本務教員数。  本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。 なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たないこととする。但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。 (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者)を参照のこと。)  学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・男女別に記入する。なお、外国留学中等の者、退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。ただし、公立大学において雇用契約による外国人教員は、「講師」欄に含めて記入する。  ・職名による区分 (教授、准教授、講師、助教、助手) 平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日 現在	

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	02-03	本務教員(年齢別)	職名別・年齢区分別本務教員数	<p>職名別・年齢区分別による本務教員数。</p> <p>本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。          なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たないこととする。但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。          (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者)を参照のこと。)</p> <p>学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・年齢区分別に記入する。          なお、外国留学中等の者、退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。          また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。ただし、公立大学において雇用契約による外国人教員は、「講師」欄に含めて記入する。</p> <p>・職名による区分          (教授、准教授、講師、助教、助手)          平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。</p> <p>・教員の満年齢による区分          (~24歳、25~34歳、35~44歳、45~54歳、55~64歳、65歳以上)</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日現在
	02-05	本務教員(取得学位別)	職名別・取得学位別(最上位)本務教員数	<p>職名別・取得学位別(最上位)による本務教員数。</p> <p>本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。          なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たないこととする。但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。          (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者)を参照のこと。)</p> <p>学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・取得学位別(最上位)に記入する。          なお、外国留学中等の者、退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。          また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。ただし、公立大学において雇用契約による外国人教員は、「講師」欄に含めて記入する。</p> <p>・職名による区分          (教授、准教授、講師、助教、助手)          平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。</p> <p>・当該組織の本務教員が取得した学位による区分          自大学/他大学別に学士、修士、博士、専門職学位(修士、法務博士)、その他(左記のいずれにも該当しない者、学位を持たない者を含む。)          複数の学位を持つ場合は、最上位の学位とする。          最上位の学位が複数ある場合は、それらのうち最終の学歴とする。          また、外国の学位の場合には、最も該当するものとする。          大学評価・学位授与機構での学位は「他大学」とする。</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日現在

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	02-06	本務教員(専門分野別)	職名別・専門分野別本務教員数	<p>職名別・専門分野別による本務教員数。</p> <p>本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。          なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たないこととする。但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。          (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者)を参照のこと。)</p> <p>学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・専門分野別に記入する。          なお、外国留学中等の者、退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。          また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。ただし、公立大学において雇用契約による外国人教員は、「講師」欄に含めて記入する。</p> <p>・職名による区分          (教授、准教授、講師、助教、助手)          平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。</p> <p>・教員の専門分野(教育研究分野)          (学校教員統計調査の「中分類」を用いる。学校基本調査の学科・系統分類表の中分類も同じである。)          コード表中に該当の専門分野がない場合は、コード表の「小分類」で内容が最も類似した専門分野が属する中分類を選択。          &lt;プルダウン選択&gt;</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日 現在
	02-09	兼務教員	学内兼務教員数	<p>組織別の学内兼務の教員数。          教員数には、外国長期出張中等の者、退職中の者、及び外国籍教員も含める。</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日 現在
			学外兼務教員数(教員)	<p>学外兼務教員のうち、教員からの兼務者数を記入。</p> <p>・教員からの兼務者とは、当該機関以外の教員(学校教育法第1条の学校の教員を指す)を本務とする者で、当該機関の兼務の教員として勤務する者を記入する。例えば、他大学の教員を本務とする者が講師を兼ねている場合など。          (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(兼務者)を参照のこと。)</p>			
			学外兼務教員数(教員以外)	<p>兼務教員のうち、教員以外からの兼務者数を記入。</p> <p>・教員以外からの兼務者とは、当該機関以外の教員(学校教育法第1条の学校の教員を指す)を本務としない者で、当該機関の兼務の教員として勤務する者を記入する。例えば、当該機関の事務職員や、会社等を本務とする者が講師を兼ねている場合など。          (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(兼務者)を参照のこと。)</p>			

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	02-10	職員	職種・勤務形態区分別職員数(常勤)	<p>職種・勤務形態区分別による常勤の職員数を記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の勤務形態を表す区分</li> <li>【常勤】 常勤職員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の職員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している職員。 (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 職員数を参照のこと。)</li> <li>・所属組織別、職種別、勤務形態別の職員数 職員数には、外国長期出張中等の者、休職中の者、及び外国籍職員も含むが、学内兼務の職員(当該組織以外に本務先のある職員)は除く。</li> <li>・職員の職種による区分</li> <li>【事務系】 庶務、会計、人事等の事務に従事している者をいい、学部、研究室等に勤務していても事務に従事している者は、この欄に記入する。図書職員で司書職務に従事している者も含める。</li> <li>【技術技能系】 技術、技能に関する職務に従事している者(機器の運転操作及びこれらに準ずる業務に従事している者で建築技術者、電気技術者、自動車運転手、工員、電話交換手等)の数を記入する。</li> <li>【医療系】 学生の健康管理の業務に従事している医師(教員は除く)、看護師、准看護師、助産師、薬剤師、栄養士並びに附属病院等に勤務する前記の職務に従事する者及びマッサージ、はり、あん摩、診療放射線技師、歯科衛生士、歯科技工士等の数を記入する。</li> <li>【教務系】 学生の実験、実習、実技若しくは演習の指導をしている者などで、教員でない者の数を記入する。したがって、実際の職務内容は、助手又はこれに準ずる者で助手として発令されていない者の数を記入する。なお、教務課などで事務に従事している者は、「事務系」欄に記入する。</li> <li>【その他】 前記以外の者で、守衛、巡視、用務員、労務作業員、調理師等の業務に従事している者等の数を記入する。</li> </ul>	半角数字(人数):5桁	大学	5月1日 現在
			職種・勤務形態区分別職員数(常勤以外)	<p>職種・勤務形態区分別による常勤以外の職員数を記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の勤務形態を表す区分</li> <li>【常勤以外】 上記の常勤以外の者で、当該組織の長又はその設置者から職員としての辞令を受け、または雇用契約を結んだ者であり、臨時職員(常勤的非常勤職員を含む。)や契約職員、アルバイト等を含む。</li> <li>・所属組織別、職種別、勤務形態別の職員数 職員数には、外国長期出張中等の者、休職者は含めて記入する。また、外国籍職員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。学内兼務の職員(当該組織以外に本務先のある職員)は除く。</li> <li>・職員の職種による区分 職種・勤務形態区分職員数(常勤)の定義を参照。</li> </ul>			

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	02-11	研究員	区分別研究員数	<p>区分別による研究員数。</p> <p>研究員の区分 (受託研究員、共同研究員、博士研究員(日本学術振興会特別研究員)、博士研究員(その他)、博士課程(日本学術振興会特別研究員)、博士課程(その他)、研修員等、その他の奨励金・助成金等取得者で研究員の身分を与えられている者) 「その他」には、海外からの私費研究員等も含む。</p> <p>研究員数 組織別、調査年度別、研究員区分別の研究員数。 外国人研究員も含める。</p> <p>*1:「受託研究員」: 民間企業、国の機関、地方公共団体等における現職の研究員や技術者で、当該機関の受託研究員制度に基づき受け入れた者。 *2:「共同研究員」: 民間企業、国の機関、地方公共団体等との共同研究のために受け入れた研究員。 *3:「博士研究員(JSPS)」: 日本学術振興会特別研究員(PD、SPD)及びJSPS外国人特別研究員。 *4:「博士研究員(その他)」: 競争的資金で雇用されており、主たる業務が当該大学での研究活動である者。左記に該当する特任教員・客員教員等(本務教員以外の兼務教員)も含む。(*3に該当する者を除く) *5:「博士課程研究員(JSPS)」: 博士課程に在籍し、日本学術振興会特別研究員(DC-1、DC-2)に採用されている者。 *6:「博士課程研究員(その他)」: 博士課程に在籍し、競争的資金により受け入れている又はその他奨励金・助成金を受けている者。(*5に該当する者を除く) *7:「研修員等」: 内地研究員、私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員、教員研修センター研修員、中国医学研修生、国連大学派遣研究員、ユネスコ国際大学院研修講座研修生などの各種研修員のうち、主に研究目的で受け入れている者。教育目的で受け入れている研修員は除く。 *: JSPS(日本学術振興会)</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日現在
	02-04	本務教員(在勤年数別)	職名別・在勤年数区分別・本務教員数	<p>職名別・在勤年数区分別による本務教員数。</p> <p>本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。 なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たないこととする。但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。 (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者)を参照のこと。)</p> <p>学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数、職名・在勤年数区分別に記入する。 なお、外国留学中等の者、退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。 また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。ただし、公立大学において雇用契約による外国人教員は、「講師」欄に含めて記入する。</p> <p>・職名による区分 (教授、准教授、講師、助教、助手) 平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。</p> <p>・教員の当該大学機関での勤務年数の区分 (～4年、5～9年、10～19年、20～29年、30～39年、40年以上) 勤務年数の定義は、当該機関の本務教員として勤務した実年数の合計とする。退職の期間は含め、学外兼務職員としての期間は除く。</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日現在

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	02-07	本務教員(学外経験別)	職名別・学外経験区分別本務教員数	<p>職名別・学外経験別による本務教員数。</p> <p>本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。          なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たないこととする。          但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。          (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者)を参照のこと。)</p> <p>学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・学外経験別に記入する。          なお、外国留学中等の者、退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。          また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。ただし、公立大学において雇用契約による外国人教員は、「講師」欄に含めて記入する。</p> <p>・職名による区分          (教授、准教授、講師、助教、助手)          平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。</p> <p>・教員の学外当該機関外での本務としての経験経歴による区分          (他大学・他共同利用機関、国立あるいは公立の機関、民間等、学外未経験)          【国立あるいは公立の機関】          国立研究所、独立行政法人、公設試験研究機関、その他公的な研究機関(国際機関含む)など</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日 現在
	02-08	本務教員(前歴別)	職名別・前歴区分別本務教員数	<p>職名別・前歴区分別による本務教員数。</p> <p>本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。          なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たないこととする。          但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。          (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 教員数(本務者)を参照のこと。)</p> <p>学部・研究科等(第2層レベル)に所属する本務教員の数を、職名・前歴区分別に記入する。          なお、外国留学中等の者、退職者は含めて記入するが、名誉教授、通信教育部専任の教員は除外する。          また、外国人教員の記入については、辞令面によりそれぞれの欄に記入する。ただし、公立大学において雇用契約による外国人教員は、「講師」欄に含めて記入する。</p> <p>・職名による区分          (教授、准教授、講師、助教、助手)          平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。</p> <p>・教員の前歴による区分          (自大学・自大学共同利用機関等(教授、准教授、講師、助教、助手、学生、その他)、他大学・他大学共同利用機関等(教授、准教授、講師、助教、助手、学生、その他)、国立あるいは公立の機関、民間等、その他)          前歴とは、現在の本務先の職名に就任する「直前の本務先」なので、非常勤のみの場合は、「その他」欄に記入。          また、現在の本務先への採用の直前に雇用されていない期間がある場合には、その期間の長短に依らず「その他」欄に記入。</p> <p>【国立あるいは公立の機関】          国立研究所、独立行政法人、公設試験研究機関、その他公的な研究機関(国際機関含む)など</p>	半角数字(人数):5桁	学部・研究科	5月1日 現在

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
学生	03-01	学生(年次別)	学科・専攻等名	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻名」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	5月1日 現在
			学科・専攻等コード	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載したコード。学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			年次別・男女別学生数	年次・男女区分別による学生数。 休学者・社会人学生も含める。  ・学生の年次による区分 (1~6年次) 年次は原則として、入学年度を「1年次」とし、以後、休学、退学、転部・科又は当該年次における単位不足等特別の事情がない限り、「2年次」、「3年次」、「4年次」、「5年次」、「6年次」とする。なお、修業年限が4年の学部では、4年を超えて在学している者は、最高年次の「4年次」に含めて記入する。(5年、6年については4年に準ずる。)また、修業年限が2年の研究科では、2年を超えて在学している者は、最高年次の「2年次」に含めて記入する。調査年度に専門職学位課程法科大学院の法学既習コースに入学した学生は2年次欄に記入する。 (学校基本調査 様式第8号 記入上の注意 学科別学生数 及び 様式第9号 記入上の注意 専攻別学生数を参照のこと。)	半角数字(人数):6桁		
			男女別留学生数	男女別学生数合計のうち留学生の数。  「留学生」: 留学生とは、日本の大学等に留学する目的を持って入国した外国人学生。すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1の4に定める「留学」による在留資格によって、入国した者。ただし、同法による他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て「留学」の資格に変更を許された者を含む。			
			男女別社会人数	男女別学生数合計のうち社会人学生の数。 (学部生・短期大学生については記入を任意とする)  「社会人学生」: 学生数のうち、社会人を専攻別に記入する。この欄には、5月1日において職に就いている者、すなわち、給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者の数を記入する。ただし、企業等を退職した者、及び主婦なども含む。 (学校基本調査 様式第9号 記入上の注意 専攻別学生数 「左記のうち社会人」を参照のこと。)			
	03-03	科目等履修生等	区分別・科目等履修生等数	区分別による科目等履修生等を記入。  ・科目等履修生等の区分 聴講生(特別聴講生を含む)、科目等履修生、研究生(特別研究生を含む)  【聴講生】 当該大学等の学生以外の者で、特定の授業科目を聴講する学生。学外の大学院に在学する学生で、授業科目を履修する特別聴講生も含む。 【科目等履修生】 当該大学等の学生以外の者で、特定の授業科目を履修し、単位修得を目的とする学生。 【研究生】 当該大学等の学生以外の者で、特定の事項について考究する学生。学外の大学院に在学する学生で、当該組織において研究指導を受ける特別研究生も含む。	半角数字(人数):6桁	学部・研究科	5月1日 現在

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
03-04		入試状況(春期・入試区分別)	学科・専攻等名	「O-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等名」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	調査年度春期に入学した者
			学科・専攻等コード	「O-3組織登録(学科・専攻等)で記載したコード。学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			定員	学科・専攻としての定員。入学時は学科・専攻等への所属が決まらない形での入試を行っている場合は、「直属」でまとめて記入。ただし学科・専攻等についてもその名称・コードと定員欄は記入(右側の入試実施に関する欄は空欄とする)。	半角数字:5桁		
			入試区分別実施回数	入試区分での入学試験(募集)の実施回数。たとえば前後期日程で行う入試の場合は2回、1次募集から3次募集まで行っている場合は3回。  ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。	半角数字:3桁		
			入試区分別募集人員	課程別、年度別、入試区分別の募集定員。 「募集人員」: 募集人員は確定した数字のない場合は、(文字)欄に「若干名」など適当な簡便な表現で記入する。 たとえば前後期合わせて募集人員を定めているときは、1回目の(文字)欄に「前後期合わせて#名」等と記入する。  ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。	半角数字(人数):6桁 文字:20字		
			入試区分別志願者数	年度別、入試区分別、課程別の志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。  ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。	半角数字(人数):6桁		
			入試区分別受験者数	年度別、入試区分別、課程別の受験者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数受験した場合も、それぞれの集計に含める。  ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。			
入試区分別合格者数	年度別、入試区分別、課程別の合格者数。  ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。						

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
03-05	入試状況(秋期・入試区分別)	入試区分別入学者数	入試区分別入学者数	年度別、入試区分別、課程別の入学者数。 ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。			前年度秋期に入学した者
			学科・専攻等名	「O-3組織登録(学科・専攻等)」で記載した組織名。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等名」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	
			学科・専攻等コード	「O-3組織登録(学科・専攻等)」で記載したコード。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			定員	学科・専攻としての定員。 入学時は学科・専攻等への所属が決まらない形での入試を行っている場合は、「直属」でまとめて記入。ただし学科・専攻等についてもその名称・コードと定員欄は記入(右側の入試実施に関する欄は空欄とする)。	半角数字:5桁		
			入試区分別実施回数	入試区分別での入学試験(募集)の実施回数。 たとえば前後期日程で行う入試の場合は2回、1次募集から3次募集まで行っている場合は3回。 ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。	半角数字:3桁		
			入試区分別募集人員	課程別、年度別、入試区分別の募集定員。 「募集人員」: 募集人員は確定した数字のない場合は、(文字)欄に「若干名」など適当な簡便な表現で記入する。 たとえば前後期合わせて募集人員を定めているときは、1回目の(文字)欄に「前後期合わせて#名」等と記入する。 ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。	半角数字(人数):6桁 文字:20字		
			入試区分別志願者数	年度別、入試区分別、課程別の志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分別で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。 ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。	半角数字(人数):6桁		
入試区分別受験者数	年度別、入試区分別、課程別の受験者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分別で複数受験した場合も、それぞれの集計に含める。 ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。						

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
			入試区分別合格者数	年度別、入試区分別、課程別の合格者数。 ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。			
			入試区分別入学者数	年度別、入試区分別、課程別の入学者数。 ・入学試験の区別 (外国学校出身者・帰国子女(生徒)特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、AO(アドミッション・オフィス)、附属校、推薦(公募)、推薦(指定校)、飛び級、その他) 「その他」: 一芸一能入試、専門学校・総合学科特別選抜、中国引き揚げ者等子女特別選抜など。			
03-06		学部等入試状況(出身高校所在地別)	都道府県別・男女別入学者数	出身学校所在地都道府県・男女別による入学者数。 ・出身学校所在地都道府県 出身高校の所在地県別に記入する。 外国の学校卒、専修学校高等課程卒、高卒認定(大検)合格者は、「その他」とする。 (学校基本調査 様式第8号 及び 様式第10号 記入上の注意 出身高校の所在地県別入学者数を参照のこと。)	半角数字(人数):6桁	学部・研究科	5月1日現在
03-02		学生(年齢別)	学科・専攻等名	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等名」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	5月1日現在
			学科・専攻等コード	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載したコード。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			年次別・男女別・年齢区分別学生数	年次・男女・年齢区分別による学生数を記入。 休学者、社会人学生も含める。 ・学生の年次による区分 (1~6年次) 年次は原則として、入学年度を「1年次」とし、以後、休学、退学、転部・科又は当該年次における単位不足等特別の事情がない限り、「2年次」、「3年次」とする。なお、修業年限が4年の学部では、4年を超えて在学している者は、最高年次の「4年次」に含めて記入する。(5年、6年については4年に準ずる。)また、修業年限が2年の研究科では、2年を超えて在学している者は、最高年次の「2年次」に含めて記入する。 (学校基本調査 様式第8号 記入上の注意 学科別学生数 及び 様式第9号 記入上の注意 専攻別学生数を参照のこと。) ・年齢区分 ~19歳、20~24歳、25~29歳、30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳、50~54歳、55~59歳、60歳~	半角数字(人数):6桁		
			年次別・男女別・年齢区分別留学生数	年次・男女・年齢区分別による学生数の留学生数を内数で記入。 ・留学生 留学生とは、日本の大学等に留学する目的を持って入国した外国人学生。すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1の4に定める「留学」による在留資格によって、入国した者。ただし、同法による他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て「留学」の資格に変更を許された者を含む。			

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
			年次別・男女別・年齢区分別社会人数	年次・男女・年齢区分別による学生数のうち社会人数を内数で記入。  社会人学生 調査年度の5/1現在で職に就いている者。すなわち給料、賃金、報酬その他経常的な収入を目的とする仕事に就いている者。ただし、定年退職者、主婦なども含む。			
	03-07	学部等入試状況(前歴別)	前歴区分別・男女別入学志願者数	前歴区分・男女別による入学志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。 学内で幾つかの学部の志願を認めていて、試験の結果第二志望の学部に入学した場合は、入学した第二志望の学部の「入学志願者」とする。  前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。  「外国学校卒業」: 学校教育法施行規則第69条第1号に定める「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」のこと。 「専修学校高等課程卒」: 学校教育法施行規則第69条第3号に基づき、昭和23年文部省告示第47号中第21号で文部科学大臣の指定する「専修学校高等課程の修了者」のこと 「その他(高卒認定等)」: 上記以外のもので学校教育法施行規則第69条に定め卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者」等)  (学校基本調査 様式第8号 及び 様式第9号 記入上の注意 入学状況を参照のこと。)	半角数字(人数):6桁	学部・研究科	5月1日現在
			前歴区分別・男女別入学者数	前歴区分・男女別による入学者数 学内で幾つかの学部の志願を認めていて、試験の結果第二志望の学部に入学した場合は、入学した第二志望の学部の「入学者」とする。  前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。  「外国学校卒業」: 学校教育法施行規則第69条第1号に定める「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」のこと。 「専修学校高等課程卒」: 学校教育法施行規則第69条第3号に基づき、昭和23年文部省告示第47号中第21号で文部科学大臣の指定する「専修学校高等課程の修了者」のこと 「その他(高卒認定等)」: 上記以外のもので学校教育法施行規則第69条に定め卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者」等)  (学校基本調査 様式第8号 及び 様式第9号 記入上の注意 入学状況を参照のこと。)			

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	03-08	大学院入試状況(前歴別)	専攻等名	「0-3組織登録(学科・専攻等)」で記載した組織名。 研究科等全体を示す場合は「専攻等名」には「直属」、「専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学部・研究科	5月1日 現在
			専攻等コード	「0-3組織登録(学科・専攻等)」で記載したコード。 研究科等全体を示す場合は「専攻等名」には「直属」、「専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			前歴区分別・男女別入学志願者数	前歴区分・男女別による入学志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。 試験の結果第二志望の専攻に入学した場合は、入学した第二志望の専攻の「入学志願者」とする。  前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。  ・前歴区分 (当該大学出身者、他大学卒業(国立、公立、私立)、外国学校卒、その他)  「当該大学出身者」: 修士課程、博士課程(前期)、博士課程(一貫)及び専門職学位課程では当該大学の学部を、博士課程(後期)では当該大学の修士課程又は博士課程(前期)を卒業または修了した者をいう。 「他大学出身者(国立、公立、私立)」: 他の大学(国立、公立、私立)を卒業・修了した者。 「外国の学校卒」: 学校教育法施行規則第70条第1項第2号の規定による「外国において学校教育における16年(医学、歯学、薬学(6年制学部・学科)に基礎を置く大学院)又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者」をいう。 「その他」: 学校教育法施行規則第70条第1項第1号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号の規定による者をいう。  (学校基本調査 様式第9号 記入上の注意 入学状況を参照のこと。)	半角数字(人数):6桁		
			前歴区分別・男女別入学者数	前歴区分・男女別による入学者数 試験の結果第二志望の専攻に入学した場合は、入学した第二志望の専攻の「入学者」とする。  前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。  ・前歴区分 (当該大学出身者、他大学卒業(国立、公立、私立)、外国学校卒、その他)  「当該大学出身者」: 修士課程、博士課程(前期)、博士課程(一貫)及び専門職学位課程では当該大学の学部を、博士課程(後期)では当該大学の修士課程又は博士課程(前期)を卒業または修了した者をいう。 「他大学出身者(国立、公立、私立)」: 他の大学(国立、公立、私立)を卒業・修了した者。 「外国の学校卒」: 学校教育法施行規則第70条第1項第2号の規定による「外国において学校教育における16年(医学、歯学、薬学(6年制学部・学科)に基礎を置く大学院)又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者」をいう。 「その他」: 学校教育法施行規則第70条第1項第1号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号の規定による者をいう。  (学校基本調査 様式第9号 記入上の注意 入学状況を参照のこと。)			

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	03-09	編入学者	年次別・男女別・編入元区分別編入者数	<p>編入元区分・編入年次・男女・編入元区分別による編入者数。</p> <p>調査年度に短期大学、高等専門学校、及び専修学校(専門課程)から編入学した者の数を編入学した年次別に記入する。</p> <p>・編入元区分 当該組織に編入した学生の編入元を区別。 (短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程))</p> <p>・編入年次 編入先での年次。(編入した年次) (2年次、3年次)</p> <p>(学校基本調査 様式第8号 記入上の注意 短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)からの編入学者数を参照のこと。)</p>	半角数字(人数):6桁	学部・研究科	5月1日現在
教育活動	04-03	学位等授与	学位名称別・学位区分別・学位授与件数	<p>学位名称別・学位区分別による学位授与件数。</p> <p>・授与する学位及び称号の名称(付記される専攻分野も名称に含めること)。 (修士(工学)、博士(医学)、〇〇修士(専門職)、法務博士(専門職)等)</p> <p>・学士授与件数 学位名称が学士に相当する場合のみ件数を記入。</p> <p>・修士授与件数 学位名称が修士に相当する場合のみ件数を記入。</p> <p>・課程博士授与件数 学位名称が博士に相当する場合のみ件数を記入。</p> <p>・論文博士授与件数 学位名称が博士に相当する場合のみ件数を記入。</p> <p>・専門職修士授与件数 学位名称が修士(専門職)に相当する場合のみ件数を記入。</p> <p>・専門職法務博士授与件数 学位名称が法務博士(専門職)に相当する場合のみ件数を記入。</p> <p>・短期大学士授与件数 学位名称が短期大学士に相当する場合のみ件数を記入。</p>	学位名称(文字:60字) 学位授与件数(半角数字(人数):6桁)	学部・研究科	前年度実績
	04-05	学生(休学者・退学者・転部転科者・留年者)	<p>備考</p> <p>年次別休学者数</p>	<p>300文字以内 指定した名称の学位について、備考がある場合は記入すること。</p> <p>年次別の休学者数を記入する。</p> <p>・年次区分 休学中に年次が上がる場合には、休学した年次ではなく、調査時点での年次とする。標準修業年限が4年の場合、「5年次」、「6年次」の欄は使用しない。標準修業年限を越えている者は、「4年次」の欄に含む。</p>	文字:300字 半角数字(人数):6桁	学部・研究科	5月1日現在
			<p>年次別退学者・除籍者数</p>	<p>年次別の退学者・除籍者数を記入する。 ただし、大学院博士課程(後期)及び博士課程(一貫)の卒業者のうち、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得したが博士の学位を取得しなかった、いわゆる満期退学者は退学者・除籍者に含めない。</p> <p>・年次区分 退学または除籍した年次とする。 標準修業年限が4年の場合、「5年次」、「6年次」の欄は使用しない。4年次まで進級し標準修業年限を越えて退学または除籍した者は、「4年次」の欄に含む。</p>			前年度実績

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
			年次別留年者数	年次別の留年者数を記入する。  ・年次区分 留年者数の留年した年次は、例えば「3年次」の場合は、3年次から4年次へ進級できなかったことを示す。 休学して現級留置となった者は含めない。 年次毎の進級制度をとっていない場合は、進級判定を行う年次のみ記入(例:1年次から2年次への進級判定しか行わないならば1年次の欄のみ、4年次で卒業判定しか行わないならば4年次の欄のみなど)。			
			年次別転科者数	・年次別の転科者数(転入出)を記入する。 (自学部内での学科(専攻)間の転入・転出)  ・年次区分 転科した年次とする。 標準修業年限が4年の場合、「5年次」、「6年次」の欄は使用しない。標準修業年限を越えている者は、「4年次」の欄に含む。			
			年次別転部者数(転入・転出)	年次別の転部者数(転入・転出)を記入する。 (他学部(研究科)から当該組織への転入・当該組織から他学部(研究科)への転出)  ・年次区分 年次別転科者の定義を参照。			
04-06	学生(取得資格)	資格名(含コード)別・在学者・卒業修了者受験者数(申請者数)	資格名別の受験者数。 その取得が学部・研究科の教育目的に強く関連している資格のみに限定して記入する。調査年度の前年度において当該組織に在籍した学生のうち、前年度中に受験(申請)した者を対象とする。ただし、資格コード表のうち、※1に記載の資格(新司法試験、公認会計士等)については、前年度在籍者に限らずに、過去に当該組織に在籍した学生のうちで、調査年度の前年度において受験した者の数(申請した者の数)を記入する。 組織として受験者数を把握していない場合には、記入しなくても良い。 また、大学での特定の科目の単位取得や卒業を条件に、試験を実施せずに授与される資格・免許の場合には、申請者数を記入する。	資格名別の受験者数。 その取得が学部・研究科の教育目的に強く関連している資格のみに限定して記入する。調査年度の前年度において当該組織に在籍した学生のうち、前年度中に受験(申請)した者を対象とする。ただし、資格コード表のうち、※1に記載の資格(新司法試験、公認会計士等)については、前年度在籍者に限らずに、過去に当該組織に在籍した学生のうちで、調査年度の前年度において受験した者の数(申請した者の数)を記入する。 組織として受験者数を把握していない場合には、記入しなくても良い。 また、大学での特定の科目の単位取得や卒業を条件に、試験を実施せずに授与される資格・免許の場合には、申請者数を記入する。	資格名(資格コードより:自動入力) 資格コード(半角数字:4桁) 受験者数(申請者数)・合格者数(取得者数) (半角数字(人数):6桁)	学部・研究科	前年度実績(合格発表の時期に依らず、前年度中の受験者を対象とする)
			資格名(含コード)別・在学者・卒業修了者合格者数(取得者数)	資格名別の合格者数。 上記の受験者のうち合格し資格を取得した者の数。 その取得が、学部・研究科の教育目的に強く関連している資格のみに限定して記入する。 上記の前年度受験者のうちで、合格して資格を取得した者の数。なお、資格コード表のうち、※1に記載の資格(新司法試験、公認会計士等)については、受験者数と同様に、前年度在籍者に限らずに過去に当該組織に在籍した学生のうちで、調査年度の前年度において受験して合格した者の数を記入する。	資格名(資格コードより:自動入力) 資格コード(半角数字:4桁) 受験者数(申請者数)・合格者数(取得者数) (半角数字(人数):6桁)	学部・研究科	前年度実績(合格発表の時期に依らず、前年度中の受験者を対象とする)

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	04-07	卒業・修了者	学科・専攻等名	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。 学部・研究科全体を示す場合は「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	5月1日 現在
			学科・専攻等コード	「0-3組織登録(学科・専攻等)」で記載したコード。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			進路区分別・男女別卒業者数	進路先区分・男女別の卒業・修了者数。 前年度中に当該学校を卒業した者について、調査年度の5月1日時点の状況を記載する。 本調査における卒業者とは、大学学部、大学院研究科、短期大学本科、高等専門学校の卒業者をいい、専攻科および別科等の修了者は除外する。 なお、大学院研究科においては、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ学位論文の審査及び最終試験に合格した者をいう。ただし、博士課程については、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得したが博士の学位を取得しなかった者で、調査年度の前年度間いわゆる満期退学した者も、便宜卒業者として含めて記入する。 ・学生の進路先を表す区分 (進学(大学院研究科、大学学部、短期大学本科、専攻科、別科)、就職者、臨床研修医、一時的な仕事に就いた者、左記以外の者、死亡・不詳の者、進学した者のうち就職している者、大学院博士課程のうち満期退学者)  【就職者】: 給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者をいう。したがって、自家・自営業に就いた者は就職者とみなす。自家・自営業に就いた者とは、継続的に本業として家業に従事する場合である。ただし、家事の手伝いに就いた者は「左記以外の者」の欄に記入する。就職先が不明な場合には就職者として取扱う。また、夜学部の学生で在学中すでに職に就いている者で、卒業後も引き続きその職にある場合は、就職者とする。なお、前出の「大学院研究科」に区分される者については、ここには含めず、「進学した者のうち就職している者」に再掲として計上する。 【臨床研修医(予定者を含む)】: 医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者の数を記入する。また、5月1日現在、臨床研修医となることが予定されている者もここに含めて記入する。 【専修学校・外国の学校等入学者】: 上記以外の者で学校等に入学(在籍)している者を記入する。専修学校・各種学校・外国の学校・職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者などがここに含まれる。 【一時的な職に就いた者】: 臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者をいう。例えば、アルバイト・パート等で一時的な仕事に就いた者を記入する。 【左記以外の者】: 左記の進学でも就職でもないことが明らかな者を記入する。家事の手伝いなどがここに含まれる。なお、学校で具体的状況を把握していない者でも、左記の進学でも就職でもないことが明らかな者であれば記入する。 【死亡・不詳の者】: 死亡・負傷の者の数を記入する。死亡とは、卒業者のうち5月1日までに死亡した者をいう。また、不詳とは、上記の各欄いずれに該当するか学校で把握していない者をいう。 【進学した者のうち就職している者】: 進学した者のうち、就職している者を再掲で記入する。 【大学院博士課程のうち満期退学者】: 大学院博士課程(後期)及び博士課程(一貫)の卒業者のうち、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得したが博士の学位を取得しなかった、いわゆる満期退学者を再掲で記入する。	半角数字(人数):6桁		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
			入学年度区分別・男女別卒業生数	<p>入学年度区分・男女別の卒業・修了者数。 前年度中に当該学校を卒業した者について、調査年度の5月1日時点の状況を記載する。</p> <p>本調査における卒業生とは、大学学部、大学院研究科、短期大学本科、高等専門学校において調査年度の前年度間に当該学校を卒業した者について、調査年度5月1日現在の状況を記入する。</p> <p>なお、大学院研究科においては、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ学位論文の審査及び最終試験に合格した者をいう。ただし、博士課程については、所定の年限以上在学し、所定の単位を修得したが博士の学位を取得しなかった者で、調査年度の前年度間にいわゆる満期退学した者も、便宜卒業生として含めて記入する。</p> <p>・入学年度 卒業(修了)した学生が入学した年度。 ・その他(編入学者) 編入した者の卒業・修了者数を記入する。 大学学部においては学校教育法第55条の三、大学院研究科においては大学院設置基準第16条及び17条ただし書きにより、優れた業績を上げた者を早期に修了させた者も含めて記入する。 ・卒業・修了者数 課程別、性別、入学年度別の卒業(修了)者数。</p> <p>(学校基本調査 様式第30号 記入上の注意 を参照のこと。)</p>			
04-08	就職者(職業別)	学科・専攻等名	学科・専攻等名	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等名」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	5月1日現在
		学科・専攻等コード	学科・専攻等コード	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載したコード。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
		就職先(職業)区分別・男女別就職者数	就職先(職業)区分別・男女別就職者数	就職先(職業)区分 学生の就職先の業種(専門的・技術的職業従事者、管理的業務、事務従事者、販売従事者、サービス業、保安職業、農林漁業作業、運輸・通信、生産工程・労務作業、分類不能の職業) <日本標準産業分類による>	半角数字(人数):6桁		
04-09	就職者(産業別)	学科・専攻等名	学科・専攻等名	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等名」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	文字:60字	学科・専攻	5月1日現在
		学科・専攻等コード	学科・専攻等コード	「0-3組織登録(学科・専攻等)で記載したコード。 学部・研究科全体を示す場合は「学科・専攻等」には「直属」、「学科・専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
		就職先(産業)区分別・男女別就職者数	就職先(産業)区分別・男女別就職者数	就職先(産業)区分 学生の就職先の業種(農業、林業、漁業、鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービス事業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されないもの)、分類不能の産業) <日本標準産業分類による>	半角数字(人数):6桁		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	04-10	TA・RA	TA従事時間総計	TAが従事した時間の総計。 TA(ティーチング・アシスタント)の定義は、当該機関の規定に依るものとする。ただし基本原則として、TAは教育補助を目的に採用する者でなければならない。  ・TA従事時間総計 組織別のTA採用者の従事時間総計。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分→4.5時間)。	半角数字(時間):9.1桁	学部・研究科	前年度実績
			RA従事時間総計	RAが従事した時間の総計。 RA(リサーチ・アシスタント)の定義は、当該機関の規定に依るものとする。ただし基本原則として、RAは研究補助を目的に採用する者でなければならない。  ・RA従事時間総計 組織別のRA採用者の従事時間総計。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分→4.5時間)。			
04-01	単位修得		授業科目名	科目の名称。同一名称の科目があった場合は、大学等で適宜文字(番号・担当者名等)を加え、違いがわかるようにする。	文字:60字	学部・研究科	前年度実績
			授業科目コード	各大学等が独自に定めたコード。任意項目。	半角英字:10字		
			履修登録者数	履修登録した者の数。他学部・研究科の学生の履修を制限していない科目の場合、他学部・研究科からの履修登録者も含めて記入する。 また、異なる課程(学部と修士、修士と博士など)の学生の履修を制限していない科目の場合、全課程の履修登録者を合計して記入する。	半角数字(人数):6桁		
			単位修得者数	履修登録し、単位を修得した者の数。 既に他の大学等で修得し、当該大学の修得単位として認定された者(既修得単位認定)は含めない。			
			不合格者数	単位修得審査の結果、不合格となった者の数。「評価なし」の者は「不合格者数」に含めない。 「履修登録者数」-「単位修得者数」-「不合格者数」=「評価なし」			
04-02	他大学との単位互換の実績		互換先大学等名	単位互換を実施している相手先大学等の名称。	文字:60字	学部・研究科	前年度実績
			互換先大学等コード	機構が配付するコード表による。 なお、相手先がコード表で規定されていない外国の大学等である場合については、名称「その他外国の大学」、コード“Z999”として合計数を入力すること。また、相手先がコード表で規定されていない国内の大学等である場合については、当機構大学情報データベース担当者へ連絡すること。	半角英数字:4桁		
			履修者数	他大学で単位を履修申告した者の延べ数。	半角数字(人数):6桁		
			単位修得者数	他大学で単位を修得した者の延べ数。			
04-04	修士論文・博士論文等題目一覧		専攻等名	「O-3組織登録(学科・専攻等)で記載した組織名。 研究科全体を示す場合は「専攻等名」には「直属」、「専攻等コード」には「999」を記入す	文字:60字	学科・専攻	前年度実績
			専攻等コード	「O-3組織登録(学科・専攻等)で記載したコード。 研究科全体を示す場合は「専攻等」には「直属」、「専攻等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			修士論文・博士論文等題目	学位取得論文の題目。 同一題目の論文がある場合には、通し番号を振るなどして区別できるようにすること。(一意性が実現できれば、通し番号に限らず、審査受け番号や著者の学籍番号、著者のイニシャルなどを付加する等、工夫すること。ただし個人情報の保護には留意すること。) ※博士論文には論文博士の者も含む。 その場合、専攻は学位審査の実質担当部局とする(研究科または大学で実質的な審査を行う場合は、「直属:999」を用いる。)	文字:1000字		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
学生支援	05-01	入学科・授業料	学科・専攻等名	0-3組織登録票(学科・専攻等)に記載した組織名。	文字:60字	学科・専攻	前年度実績
			学科・専攻等コード	0-3組織登録票(学科・専攻等)に記載した組織に対するコード。	半角数字:3桁		
			入学科	組織別の入学科。前年度に入学した者一人あたりの金額とする。	半角数字(円):7桁		
			授業料	組織別の年度の授業料。前年度に入学した者一人あたりの金額とする。	半角数字(円):7桁		
			入学科免除申請者数	組織別の入学科免除の申請者数。	半角数字(人数):6桁		
			入学科全額免除者数	組織別の入学科の全額免除者数。			
			入学科一部(半額)免除者数	組織別の入学科の一部(半額)免除者数。			
			入学科免除額総合計	組織別の入学科免除額の年間の総合計額。 例えば、10万円の入学科を5名免除した場合には、50万円となる。	半角数字(円):12桁		
			免除期間区分別授業料免除申請者数	組織別、授業料免除期間区分別の授業料免除の申請者数。 同じ学生が、当該免除期間内において複数回申請した場合にも、それぞれ集計に含めることとする。	半角数字(人数):6桁		
			免除期間区分別授業料全額免除者数	組織別、授業料免除期間区分別の授業料の全額免除者数。 同じ学生が、当該免除期間内において複数回免除された場合にも、それぞれ集計に含めることとする。			
	免除期間区分別授業料一部(半額)免除者数	組織別、授業料免除期間区分別の授業料の一部(半額)免除者数。 同じ学生が、当該免除期間内において複数回免除された場合にも、それぞれ集計に含めることとする。					
	免除期間区分別授業料免除額総合計	組織別、授業料免除期間区分別の授業料免除額の総合計額。	半角数字(円):12桁				
	05-02	奨学金採用	奨学金団体区分別申請者数	奨学金団体区分別の奨学金申請者数。 日本学生支援機構等で、入学以前に申請している者については、当該機関が把握している範囲で集計に含める。「その他」の申請者数欄は任意記入。	半角数字(人数):6桁	学部・研究科	前年度実績
			奨学金団体区分別・給付区分別採用者数	奨学金団体区分、奨学金給付区分別の奨学金採用者(受給者)数。 日本学生支援機構等で、入学以前に採用されている者については、当該機関が把握している範囲で集計に含める。「その他」の採用者数も、大学で把握している範囲で記入する。			
研究(外部資金・産学連携)	06-01	産業財産権・特許	産業財産権の保有件数	組織別の産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)の前年度末時点の保有(取得)総件数。	半角数字(件数):7桁	学部・研究科	前年度実績
			特許出願数	組織別の特許の出願総件数。ただし当該組織又は組織の依頼を受けたTLO(技術移転機関)を通じて出願されたものを対象とする。国内に限らず、外国への出願も含む。 出願日を基準にしてカウント。年度をまたいでいても、再出願は含めない。 また、同一の発明・技術の各国への出願は重複させず、1件として集計する。	半角数字(件数):4桁		
			特許取得数	組織別の特許の取得総件数。ただし、権利が当該組織または機関に帰属するものを対象とする。国内に限らず、外国での取得も含む。			
			ライセンス契約件数	組織別の特許のライセンス契約総件数。 ライセンス契約数は、当該組織または組織の依頼を受けたTLO(技術移転機関)が契約したものを対象とする。 契約件数には譲渡契約も含む。	半角数字(件数):9桁		
			ライセンス契約収入	組織別の特許のライセンス契約総収入。(千円) ライセンス収入は当該年度内に、当該組織または機関へ入金された金額のみを含み、教員個人等への収入は除く。	半角数字(円):12桁		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	06-02	科学研究費補助金	研究種目別申請件数(新規・継続別)	組織別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の申請件数。  科学研究費補助金研究種目 文部科学省及び日本学術振興会において審査・交付される際の科学研究費補助金の研究種目。 種目ごとに、新規と継続で区分する。  <科学研究費> (基盤研究(S)、基盤研究(A)、基盤研究(B)、基盤研究(C)、特別推進研究、特定領域研究、萌芽研究、若手研究(A)、若手研究(B)、特別研究促進費) <特別研究員奨励費> <学術創成研究費>	半角数字(件数):4桁	学部・研究科	前年度末
			研究種目別内定件数(新規・継続別)	組織別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の交付内定時の採択内定件数。 種目ごとに、新規と継続で区分する。  種目は、研究種目別申請件数(新規・継続別)の定義を参照。			
			研究種目別内定金額(新規・継続別)	組織別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の交付内定金額。 種目ごとに、新規と継続で区分する。  種目は、研究種目別申請件数(新規・継続別)の定義を参照。	半角数字(円):12桁		
			研究種目別間接経費(新規・継続別)	組織別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の間接経費。 種目ごとに、新規と継続で区分する。  種目は、研究種目別申請件数(新規・継続別)の定義を参照。			
	06-03	競争的外部資金	区分別採択件数	組織別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の採択件数。 競争的外部資金(調査票6-2の科学研究費補助金を除く)の種類による区分。  <政府等の助成金> 総務省(独)情報通信研究機構を含む。 文部科学省(独)日本学術振興会、(独)科学技術振興機構を含む。「21世紀COEプログラム」、「特色ある大学教育支援プログラム」、「科学技術振興調整費」、「戦略的創造研究推進事業」、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」、「その他」の別に集計する。 厚生労働省(独)医薬品医療機器総合機構を含む。 農林水産省(独)農業・生物系特定産業技術研究機構を含む。 経済産業省(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構を含む。 国土交通省(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構を含む。 環境省 その他の省庁	半角数字(件数):4桁	学部・研究科	前年度実績
			区分別受入金額	組織別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の間接経費も含めた総受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。	半角数字(円):12桁		
			区分別間接経費	組織別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の間接経費。一般管理費も含む。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。			

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
	06-04	共同研究・受託研究・受託研究員	相手先区分別・共同研究受入件数	組織別、相手先別の共同研究の受入件数。 資金の受入がない場合も、契約を結んだ共同研究については件数に含める。 複数年契約の場合も、実施時期が前年度に重なる共同研究については件数に含める。 ※同一年度に同一課題で研究費を分割して受け入れる場合、件数は1として計上する。  共同研究の相手先による区分。 (国内企業、国、独立行政法人、その他公益法人等、地方公共団体、外国政府機関、外国企業、その他)  (文部科学省 産学連携等実施状況調査(平成17年度実績)の民間等区分を参照)	半角数字(件数):6桁	学部・研究科	前年度実績
			相手先区分別・共同研究受入金額	組織別、相手先別の共同研究の受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。 他方で、複数年度の研究課題でも、研究費受入が当該年度にまとめて行われた場合は、その合計金額を算入する(したがって、件数は1と算入されるが、研究費受入を伴わない課題もありうる)。  相手先区分は、相手先区分別・共同研究受入件数の定義を参照。	半角数字(円):12桁		
			相手先区分別・共同研究員受入人数	組織別、相手先別の共同研究で受け入れた研究員の人数。	半角数字(人数):6桁		
			相手先区分別・受託研究受入状況別受入件数	相手先区分は、相手先区分別・共同研究受入件数の定義を参照。 組織別、相手先別、受託研究区分別の受託研究の受入件数。 資金の受入がない場合も、契約を結んだ受託研究については件数に含める。 複数年契約の場合も、実施時期が前年度に重なる受託研究については件数に含める。 ※同一年度に同一課題で研究費を分割して受け入れる場合、件数は1として計上する。  受託研究の依頼元による区分。 (国内企業、国、独立行政法人、その他公益法人等、地方公共団体、外国企業、その他)  (文部科学省 産学連携等実施状況調査(平成17年度実績)の民間等区分を参照)	半角数字(件数):6桁		
			相手先区分別・受託研究受入状況別受入金額	組織別、相手先別、受託研究区分別の受託研究の受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。 他方で、複数年度の研究課題でも、研究費受入が当該年度にまとめて行われた場合は、その合計金額を算入する(したがって、件数は1と算入されるが研究費受入を伴わない課題もありうる)。  相手先区分は、相手先区分別・受託研究受入状況別受入件数の定義を参照。	半角数字(円):12桁		
			相手先区分別・受託研究員受入人数	組織別、相手先別の受託研究員の受入人数。	半角数字(件数):6桁		
			相手先区分別・受託研究員受入金額	相手先区分は、相手先区分別・受託研究受入状況別受入件数の定義を参照。 組織別、相手先別の受託研究員の受入金額。	半角数字(円):12桁		
	06-05	寄附金・寄附講座	寄附金受入件数	組織別の寄附金の受入件数。	半角数字(件数):4桁	学部・研究科	前年度実績
			寄附金受入金額	組織別の寄附金の受入金額。	半角数字(円):12桁		
			寄附講座・研究部門設置数 寄附講座・研究部門受入金額	組織別の寄附講座もしくは研究部門の受入設置数。 組織別の寄附講座もしくは研究部門の受入金額。	半角数字(件数):4桁 半角数字(円):12桁		
国際交流	07-03	学生海外派遣	派遣先国名(含国コード)	国名は直接入力不可。国コードを入力すると、その国コードに該当する国名が自動的に設定される。 国コードは、国コード表参照。	半角数字:3桁のみ	学部・研究科	前年度実績
			派遣人数	派遣先国別の海外留学生の派遣人数。 複数年度にわたって派遣される学生についても、派遣期間が調査期間(前年度実績)と重なる者は集計に含める。  本調査における海外派遣は、組織(大学または学部・研究科レベル)の教育制度として実施し、参加が単位の取得に結び付くものを対象とする。	半角数字(人数):6桁		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
07-01	外国人学生		国籍名(含国コード)	国名は直接入力不可。国コードを入力すると、その国コードに該当する国名が自動的に設定される。 国コードは、国コード表参照。	半角数字:3桁のみ	大学	5月1日現在
			留学生区分別・国籍別・男女別・分野別外国人学生数	留学生区分、国籍、男女、分野別の外国人学生の人数。 (国籍表示については、旅券又は外国人登録証明書に記載されている名称による。)  「外国人」: 日本の国籍を有しない者をいう。  留学生区分 「留学生」: 日本の大学に留学する目的を持って入国した外国人学生である。すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1の4に定める「留学」(本邦の大学もしくはこれに準ずる機関、専修学校の専門課程、外国において12年の学校教育を修了した者に対して本邦の大学に入学するための教育を行う機関または高等専門学校において教育を受ける活動)による在留資格によって、入国した者である。なお、同法による他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て上記に定める資格に変更することを許された者も留学生として扱う。 「国費留学生」: 日本政府から奨学金を支給されている留学生である。 「私費留学生」: 上記の国費以外の留学生、すなわち、自費による者のほか都道府県またはその者の本国から奨学金の支給を受けている者などである。 「その他」: 留学生以外のすべての外国人学生であり、主として日本の高等学校(中等教育学校(後期課程))を卒業して大学に入学した外国人である。	半角数字(人数):6桁		
			留学生区分別・国籍別・男女別専攻科・別科学生数	留学生区分、国籍、男女別の専攻科・別科学生の人数。別掲1に記入。			
			留学生区分別・国籍別・男女別聴講生等数	留学生区分は、留学生区分・国籍・男女・分野別外国人学生数の定義を参照。 留学生区分、国籍、男女別の聴講生・選科生・研究生等の人数。別掲1に記入。			
			留学生区分別・分野別・男女別専攻科・別科学生数	留学生区分は、留学生区分・国籍・男女・分野別外国人学生数の定義を参照。 留学生区分、分野、男女別の専攻科・別科学生の人数。別掲2に記入。			
			留学生区分別・分野別・男女別聴講生等数	留学生区分は、留学生区分・国籍・男女・分野別外国人学生数の定義を参照。 留学生区分、分野、男女別の聴講生・選科生・研究生等の人数。別掲2に記入。			
			留学生区分は、留学生区分・国籍・男女・分野別外国人学生数の定義を参照。				
07-02	外国籍研究者		国籍名(含国コード)	国名は直接入力不可。国コードを入力すると、その国コードに該当する国名が自動的に設定される。 国コードは、国コード表参照。	半角数字:3桁のみ	学部・研究科	5月1日現在
			出身国別・外国籍研究者区分別外国籍研究者数	出身国別、外国籍研究者区分別の外国籍研究者の人数。 (学校基本調査 様式第7号 記入上の注意 外国人を参照のこと。)  外国籍研究者の区分: (本務教員(教授、准教授、講師、助教、助手)、本務教員以外の教員(教授、准教授、講師、助教、助手)、研究員(博士研究員)) 職名による区分: 平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。  研究員については、JSPS外国人特別研究員、当該機関が招へいた客員研究員、ポストドクなどのうち、調査基準時点で既に在籍しており、滞在(予定)期間が1年以上の者とする。	半角数字(人数):5桁		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
07-04		教員・職員海外出張等	出張先国名(含国コード)	出張先国名は直接入力不可。国コードを入力すると、その国コードに該当する国名が自動的に設定される。 国コードは、国コード表参照。	半角数字:3桁のみ	大学	前年度実績
			役員海外出張人数	出張先国別の役員(定義は当該機関の規定に基づく。ただし教員・職員と重複しない者のみを対象とする。)の海外出張人数。 一度の出張で複数国に滞在した場合は、国毎にカウントする。 同一者が同一国に複数回出張した場合は、訪問の延べ数でカウントする。	半角数字(人数):5桁		
			職名別教員海外出張人数	出張先国別の教員の海外出張人数。 一度の出張で複数国に滞在した場合は、国毎にカウントする。 同一者が同一国に複数回出張した場合は、訪問の延べ数でカウントする。  「2-2本務教員(基本)」において定義される教員を対象とする。  職名による区分(教授、准教授、講師、助教、助手) 平成19(2007)年4月1日からは、上段の職名区分により区分。それ以前は、下段の職名区分により区分。			
			職員海外出張人数	出張先国別の職員の海外出張人数。 一度の出張で複数国に滞在した場合は、国毎にカウントする。 同一者が同一国に複数回出張した場合は、訪問の延べ数でカウントする。  「2-10職員」において定義される常勤の職員を対象とする。			
07-05		協定校等交流状況	相手側(協定校等)機関名	相手先機関の名称(英文または日本語表記)。	文字:100字	大学	前年度実績
			相手側組織レベル	「大学全体」、「学部」、「研究科」、「研究所」など相手側の組織レベルが分かるような簡潔な語で記入すること。	文字:30字		
			国・地域名(含国・地域コード)	国・地域名は直接入力不可。国コードを入力すると、その国コードに該当する国名が自動的に設定される。 国コードは、国コード表参照。	半角数字:3桁のみ		
			日本側部局名	日本側の組織レベル(大学、学部・大学院等など) 「0-2組織登録(学部・研究科等で記載した組織名。大学全体を示す場合は「学部・研究科名」には「直属」、「学部・研究科等コード」には「999」を記入する)。	文字:60字		
			日本側部局コード	「0-2組織登録(学部・研究科等)」で記載したコード。 大学全体を示す場合は「学部・研究科名」には「直属」、「学部・研究科等コード」には「999」を記入する。	半角数字:3桁		
			教職員派遣者数	交流協定に基づいて派遣した教職員の合計数。  「2-2本務教員(基本)」において定義される教員、及び、「2-10職員」において定義される常勤職員を対象とする。	半角数字(人数):5桁		
			学生派遣者数	交流協定に基づいて派遣した学生数。	半角数字(人数):6桁		
			教職員受入者数	交流協定に基づいて受入れた教職員の合計数。	半角数字(人数):5桁		
			学生受入者数	交流協定に基づいて受入れた学生数。	半角数字(人数):6桁		
			備考	協定内容の概要を100文字以内で記入。	文字:100字		

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
社会貢献	08-01	公開講座	名称	組織が主催した公開講座の名称。 同一名称の行が複数存在することのないよう、通し番号、開催担当組織名、対象者種別などを適宜加えること。	文字:100字	大学	前年度実績
			参加人数	組織が主催した公開講座の参加人数。	半角数字(人数):6桁		
			実施回数	組織が主催した公開講座の実施回数。	半角数字(回数):3桁		
			開始年月日	組織が主催した公開講座の開始年月日。	半角数字(年月日): YYYY.MM.DD		
			終了年月日	組織が主催した公開講座の終了年月日。			
			総開催時間数	組織が主催した公開講座の総開催時間数。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分→4.5時間)。	半角数字(時間):4.1桁		
08-02	講演会展示会	名称	組織が主催した講演会・展示会等の名称。 同一名称の行が複数存在することのないよう、通し番号、開催担当組織名、対象者種別などを適宜加えること。	文字:100字	大学	前年度実績	
		参加人数	組織が主催した講演会・展示会等の参加人数。把握が困難なものについては、概数または空欄。	半角数字(人数):6桁			
		実施回数	組織が主催した講演会・展示会等の実施回数。	半角数字(回数):3桁			
		開始年月日	組織が主催した講演会・展示会等の開始年月日。	半角数字(年月日): YYYY.MM.DD			
		終了年月日	組織が主催した講演会・展示会等の終了年月日。				
		総開催時間数	組織が主催した講演会・展示会等総開催時間数。 小数点第2位以下は四捨五入し、第1位までで入力(例:4時間30分→4.5時間)。	半角数字(時間):4.1桁			
08-03	オープンキャンパス	開催延日数	オープンキャンパスを開催した延べ日数	半角数字(日):3桁	大学	前年度実績	
		参加者数	オープンキャンパスに来場した参加者数	半角数字(人数):6桁			

大項目	調査票番号	中項目(調査票)	小項目	小項目の定義	データ書式	組織対象レベル	基準日
評価改善活動	10-01	自己点検・評価	被評価組織名	自己点検評価の対象となった組織名。 機関全体が対象となった場合は、「被評価組織名」:「直属」を入力する。	文字:60字	大学	前年度実績
			被評価組織コード	自己点検評価の対象となった組織に対する組織コード。  機関全体が対象となった場合は、「被評価組織コード」:「999」を入力する。 組織コードの半角数字3文字を入力すると組織登録の第2階層を、6文字を入力すると第3階層を表す。	半角数字:3 or 6 or 9字		
			評価実施体制	評価を実施した際の体制。2400文字以内。	文字:2400字		
			外部評価者数	評価実施体制の項目に記載された評価実施人員のうち、学外の評価者の数。(外国籍を含める)	半角数字(人数):3桁		
			外国籍	上記の外部評価者のうち外国籍の数。			
			評価対象期間	自己点検評価の対象となった期間。 「平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日」又は「平成〇年度」等、40文字以内で記入。	文字:40字		
			評価結果告知年月日	評価結果を被評価組織に告知または公表した年月日。 YYYY.MM.DD or YYYY.MM or YYYY 形式 1800.01.01～2100.12.31の期間内。	半角数字(年月日): YYYY.MM.DD		
			評価結果公開URL	大学等のHP上で公開している場合は、URLを記述する。	文字:200字		
	10-02	第三者評価	被評価組織名	第三者評価の対象となった組織名。 機関全体が対象となった場合は、「被評価組織名」:「直属」を入力する。	文字:60字	大学	前年度実績
			被評価組織コード	第三者評価の対象となった組織に対する組織コード。  機関全体が対象となった場合は、「被評価組織コード」:「999」を入力する。 組織コードの半角数字3文字を入力すると組織登録の第2階層を、6文字を入力すると第3階層を表す。	半角数字:3 or 6 or 9字		
			評価機関名	評価を実施した機関の名称 (大学評価・学位授与機構、大学基準協会、ISO、JABEEなど)	文字:60字		
			評価対象機関	第三者評価の対象となった期間。 「平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日」または「平成〇年度」等、40文字以内で記入。	文字:40字		
			評価結果告知年月日	評価結果が通知又は公表された年月日。 YYYY.MM.DD or YYYY.MM or YYYY 形式 1800.01.01～2100.12.31の期間内。	半角数字(年月日): YYYY.MM.DD		
			評価結果公開URL	大学等のHP上で公開している場合は、URLを記述する。	文字:200字		

調査票共通	課程区分	学士、専攻科、別科、短期大学、短期大学(専攻科)、短期大学(別科)、高等専門学校、高等専門学校(専攻科)、修士課程、博士課程(前期)、博士課程(後期)、博士課程(一貫)、専門職学位課程 <プルダウン選択>
	昼夜区分	昼間、夜間、昼夜 <プルダウン選択>
	履修区分	通学、通信、多様なメディア <プルダウン選択>